

CHIBA PARASPORTS PROJECT (千葉パラスポーツプロジェクト) ハンドブック NPO 法人スマイルクラブ

令和2年度 スポーツ庁委託事業
『障害者スポーツ推進プロジェクト』
(地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業)



千葉県マスコットキャラクター チーバくん

目次

はじめに 1

「障害者スポーツ推進プロジェクト」にあたり 2

「障害者スポーツ推進プロジェクト」概要 3

1 総合型地域スポーツクラブについて4

1. 全国および千葉県の状況
2. 新認証制度

2 千葉県でのオリンピックとパラリンピック開催について7

1. オリンピック・パラリンピックの競技と競技会場
2. 千葉県で開催されるオリンピック競技
3. 千葉県で開催されるパラリンピック競技

3 千葉県での総合型地域スポーツクラブでの障がい者スポーツ事例9

1. 大穴スポーツクラブの設立経緯とNPO法人スマイルクラブ
2. NPO 法人スマイルクラブ

4 パラスポーツ紹介（パラバドミントン） 16

1. クラス分け
2. コート
3. 競技用車いすと通常の車いす
4. 車いすに乗ってバドミントンをしよう

■千葉県のパラバドミントン選手紹介 大濱 真（パラバドミントン選手）

5 新型コロナウイルス感染症予防等 20

1. 日常生活の注意
2. スポーツを行う／スポーツイベントに参加する際の注意
3. スポーツ会場での注意
4. 帰宅したら
5. 管理者の注意事項

6 千葉県の活躍期待選手のインタビュー 23

「選択肢が広がる社会へ」 香西 宏昭（車いすバスケットボール選手）

「スポーツを通して豊かな人生を」 樋口 政幸（パラ陸上競技選手）

はじめに

NPO 法人スマイルクラブは、2000 年に総合型地域スポーツクラブ（以下 地域スポーツクラブ）としてスタートしました。ちょうど、スポーツ振興基本計画として文科省が各市町村に 1 つのクラブを設立目標として推進された年でもあります。それから 20 年が経過し、日本の地域スポーツクラブ数は 2019 年 3 月のスポーツ庁の報告書によれば、全国に 3,599 件（クラブ育成率 80.8%）となっており、ほぼ横ばい状態となっています。

20 年経過した私たち地域スポーツクラブは、地域にどこまで貢献できたのか？あるいは地域の人たちにどこまで受け入れられたのか？特にこの 2020 年度は新型コロナウイルス感染症で始まり、終わりました。このような時代に、地域スポーツクラブは何ができたのか？を毎日考えながら活動しています。

2020 年 4 月の緊急事態宣言で学校施設や公共施設等が使えず、スポーツ活動がまったくできず大変な年でもありました。さらには 2021 年 1 月に 2 度目の緊急事態宣言が発出され、再度スポーツ教室での収入は閉ざされ、どうやって運営をしていけばいいのかを模索していました。おそらく多くの地域スポーツクラブは、このような状況ではないかと推察いたします。

一方でドイツの地域スポーツクラブとの交流も、コロナまでは 10 年連続しておこなってきました。そこでの大きなヒントは「社会公益性」（福祉分野や医療連携領域など）というテーマでした。つまり、障がい児（者）や運動療法など地域のいろいろな方に必要なプログラムも積極的に取り入れ、地域の人材（障がい児指導専門家や医療関係者等）を活用しながら活動している姿でした。

そして、今回スポーツ庁「障害者スポーツ推進プロジェクト」に採択され、このテーマについて、地域スポーツクラブとしてどう考え、スマイルクラブの地元である千葉県の協力を得ながら進めてまいりました。そしてこのハンドブックが皆様にどれほどお役に立てるかはわかりませんが、一つのヒントとしてお役に立つことができれば幸甚と考えておりますので、どうぞこの機会にご一読いただければと存じます。

2021 年 3 月
NPO 法人スマイルクラブ
理事長 大浜あつ子

「障害者スポーツ推進プロジェクト」にあたり

今回のスポーツ庁委託事業は、障がい者(このハンドブックの中では、基本的に「障がい」を使用)スポーツ推進のために、その受け皿のひとつとなっている総合型地域スポーツクラブ(以下 地域スポーツクラブ)であるスマイルクラブが、千葉県と連携しモデル的に障がい者スポーツのイベントや人材養成などを、学校や地域の体育館等で直接おこなう予定でした。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症により緊急事態宣言が発出され、学校も休校となり、外出も制限され、直接事業をおこなうことができなくなり、コロナ時でも対応できる方向へ内容を変更せざるを得ませんでした。

本来、スポーツは直接見たり、聞いたり、体験したりすることで「感動」、「すばらしさ」、「むずかしさ」など様々なものを伝えることができますが、今回の感染症により、新たな伝え方を創出しそれにチャレンジし、もって障がい者スポーツの推進をはかりたいと考えました。

一方で、地域スポーツクラブはこの新型コロナウイルス感染症により学校開放による体育館等の施設が使えなくなり、活動休止をせざるをえず、経営的に苦しい状況でもあることも報告されています。

そのような中、2021年1月に2度目の緊急事態宣言が発出され、それに拍車をかけている状況です。

そこでこのような困難な時代に、この委託事業をきっかけに地域スポーツの今後の運営のひとつのキーワードとして「社会公益性」(福祉領域や医療連携等)を掲げ、その具体的な事例についてもご紹介することで、この事業がさらに発展できるものと考え、「社会公益性」に関する具体的な事例も追加させていただきました。

なぜならそのことで、このコロナの時代に障がい者スポーツの受け皿となっている全国の地域スポーツクラブの自立継続のための、きっかけにもつながると考えたからです。そして多くの地域の方々に喜んでもらえるクラブとなり、必要で愛されるクラブとしても深化できるものと考えたからです。

今回のハンドブックが学校や地域スポーツクラブ等、多くの皆様に少しでもお役に立つことができればうれしい限りです。

最後に今回の事業で、千葉県はじめ委員の方々など多くの方にご協力いただき、このハンドブックができあがりましたので、この紙面を借り、あらためて厚くお礼申し上げます。

2021年3月

NPO法人スマイルクラブ理事

本プロジェクト事務局責任者 大浜三平

「障害者スポーツ推進プロジェクト」概要

1 本プロジェクトの目的

総合型地域スポーツクラブ、千葉県と連携し、障がい者スポーツをおこなう際の感染予防や対策にも考慮した、障がい者スポーツハンドブックを作成することにより、障がいのある人も施設や自宅等でスポーツを楽しむことができる環境を整備することを目的とする。

2 目標（下記成果物とその配布）

- 1) 障がい者スポーツハンドブックの作成
- 2) パラスポーツ紹介事例（パラバドミントン）動画作成
パラバドミントンの動画作成し、CD として配布
- 3) 上記ハンドブックおよび CD の配布による普及
学校、地域スポーツクラブ等

3 方法

- 1) 委員会の開催（※各委員については、下記参照）
- 2) 事務局の設置
- 3) 関係者への成果物の配布

4 委員会委員（敬称略、順不同）

- 1) 委員長 大浜 あつ子（NPO 法人スマイルクラブ理事長）
- 2) 委員 渡邊 国剛（千葉県教育庁教育振興部体育課スポーツ推進室生涯スポーツ班）
- 3) 同 桃木 一（同上）
- 4) 同 安藤 裕一（株式会社 GMSS ヒューマンラボ代表取締役、医師、スポーツドクター）
- 5) 同 谷藤 千香（千葉大学大学院国際学術研究院准教授）
- 6) 同 兒玉 友（日本福祉大学スポーツ科学部助教）
- 7) 同 大浜 真（NPO 法人スマイルクラブ所属、パラバドミントン選手）
- 8) 事務局 大浜 三平（NPO 法人スマイルクラブ理事）
久保田 いずみ（事務局スタッフ）

1 総合型地域スポーツクラブについて

1. 全国および千葉県の状況

総合型地域スポーツクラブは、人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子どもから高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブを言います。1995 年より文部省が育成モデル事業を実施し、2000 年に策定された「スポーツ振興基本計画」において、生涯スポーツ社会の実現のため必要不可欠な施策として総合型地域スポーツクラブの全国展開が盛り込まれ、多くのクラブが設立されました。総合型クラブは、スポーツの振興やスポーツを通じた地域づくりなどに向けた多様な活動を展開し、地域スポーツの担い手として、また地域コミュニティの核としての役割を果たしています。

「令和元年度総合型地域スポーツクラブ育成状況調査」によると、2019 年 7 月 1 日現在で、創設済みクラブ数 3,461、創設準備中クラブ数 143、クラブ育成率※は 80.5%となっています。また、千葉県における育成状況は、創設済みクラブ 82、創設準備中クラブ 10、クラブ育成率 66.7%と全国的にみて高いとは言い難い状況です。

※クラブ育成率：創設済み又は創設準備中クラブがある市町村数 / 市区町村数

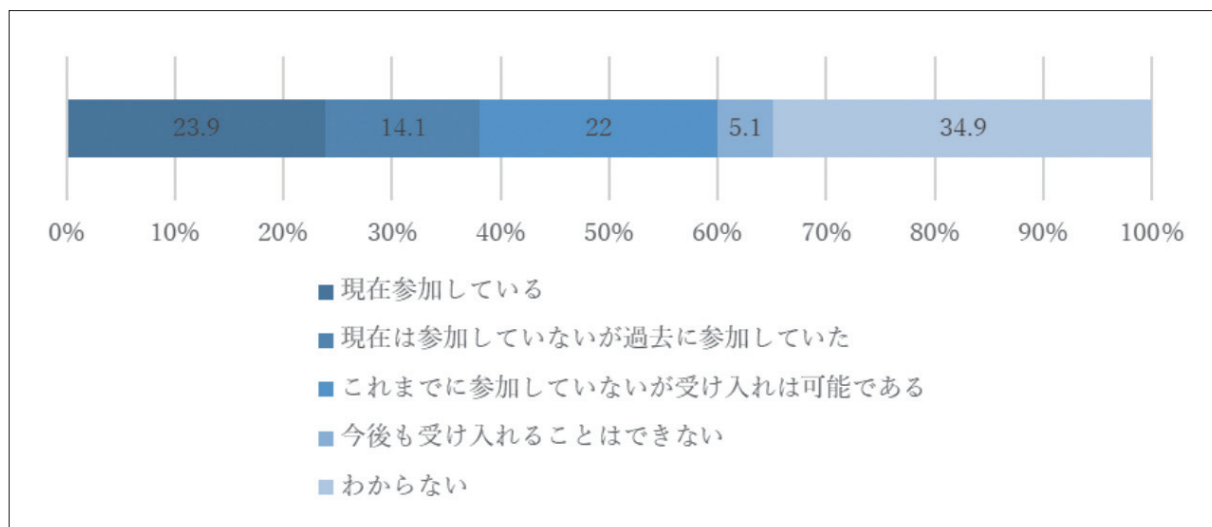
表 1 総合型地域スポーツクラブ育成状況

	市区町村	創設済み	準備中	育成クラブ数	育成市町村	育成率※
全国	1,741	3,461	143	3,604	1,401	80.5%
千葉県	54	86	10	96	41	75.9%

2012 年に策定された「スポーツ基本計画」において、総合型クラブの自主性・主体性を支える重要な要素である財源などの状況が分析され、自己財源率が 50%以下のクラブが半数以上を占め、財政基盤が弱いクラブが多いことや、また、総合型クラブの認知度は決して高くなく、クラブの理念・趣旨、特徴、地域住民の関与の仕方等に関わる情報が広く行き渡っていないことが指摘され、総合型クラブが、より自立的に運営することができるよう運営面や指導面において周辺の地域スポーツクラブを支えることができる拠点クラブを育成することなどが施策目標として掲げられました。さらに 2017 年に発表された「第 2 期スポーツ基本計画」においては、総合型クラブ数の量的拡大から質的な充実により重点を移し、クラブの登録・認証等の整備、中間支援組織の整備、PDCA サイクルにより運営の改善等を図る総合型クラブの増加、地域課題解決に向けた取り組みを行うクラブの増加、障がい者の参加促進などが言及されました。

前述の「令和元年度総合型地域スポーツクラブ育成状況調査」によると、総合型クラブでは、地域の課題解決に向けて、スポーツを通じた健康増進、子育て支援、学校との連携、障がい者スポーツの推進など様々な取り組みが実施されています。障がい者の参加状況については、「現在参加している」

23.9%、「現在は参加していないが過去に参加していた」14.1%、「これまでに参加していないが受け入れは可能である」22.0%と受け入れ体制が整いつつある一方で、「今後も受け入れることはできない」5.1%、「わからない」34.9%と障がい者の受け入れについての情報が不足している可能性が推察されます。



活動への障がい者の参加

また障がい者の参加状況としては、「プログラム・イベント等に障がい者のための特別な配慮をしている」、「障がい者のみを対象とするプログラム・イベント等を用意している」、「障がい者のためのチームがある」など様々ですが、受け入れ実績のあるクラブが障がい者への配慮の仕方、障がい者に適したプログラムやイベントの情報、障がい者のチームの活躍の場などについて、具体的な情報を発信することで、より多くのクラブが受け入れ可能となると考えられます。

なお、千葉県における障がい者の参加事例としては、主に以下のクラブが挙げられます。

- スマイルクラブ：発達障がい児の教室、パラスポーツ普及事業など
- 大穴スポーツクラブ：知的障がい児の運動教室（スマイルクラブと連携）
- 市川スポーツガーデン国府台：車いすバスケットボール（「NO EXCUSE」と連携）
- 四小元気会：機能障がい者指導
- 矢切スポーツクラブ：県立矢切特別支援学校との交流

2. 新認証制度

総合型地域スポーツクラブ育成推進事業は、2004年から日本体育協会（2018年に日本スポーツ協会に改称）に委嘱・委託され、総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度についても日本スポーツ協会の組織内組織である「総合型地域スポーツクラブ全国協議会（SC 全国ネットワーク）」を基盤に整備をおこなっています。登録・認証制度の目的は、総合型クラブが行政と連携して公益的な取り組みを行うことを促進すること、総合型クラブにPDCAサイクルが定着することによって質の充実を図ること等が挙げられますが、クラブにとっては「総合型クラブの社会的認知度の向上」「行政における総合型クラブへの理解促進」が挙げられます。

登録・認証制度の考え方は概ね以下のとおりです。

■「登録」「登録基準」について

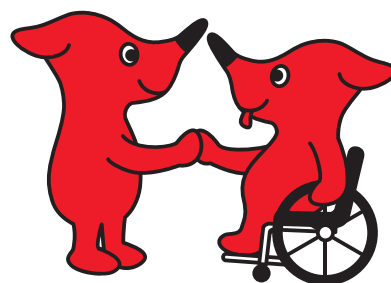
- 登録とは、総合型クラブからの申請に基づき、制度の運用主体が「登録基準」に合致したと判断した場合に、総合型クラブとしての名簿に記載する手続きとする。
- 多世代、多種目、多志向という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブであること。
- 自主的・自立的に運営されるために必要な持続可能な運営体制や活動に見合った財源が確保されていること。
- 規約に基づく運営や自己点検・評価に基づく活動計画の作成など、公的機関・組織と連携した公益的な取組を促進するために必要となるガバナンスが確保されていること。
- 以上の要件に加えて、各都道府県において地域の実情に応じた独自の登録基準を加えることや基準の適用範囲を判断できる制度とする。また、全ての要件等が満たされないクラブに対する支援を行うなど、育成・支援をするための基準として運用していく。

■「認証」「認証基準」

- 当該クラブが登録手続きを完了した後に、制度の運用主体があらかじめタイプ別に用意した「認証基準」のいずれかのタイプに当該クラブを当てはめ、タイプに応じて当該クラブを称する手続きとする。
- 総合型クラブが地域課題に応えるための「社会的な仕組み」として定着していくことを目指すため、「運動・スポーツによる介護予防事業の実施」「放課後児童クラブ・放課後子供教室におけるスポーツ活動の機会の提供」「学校運動部活動において学校と地域が協働・融合した形での地域におけるスポーツ環境整備」等のそれぞれのタイプ別に、認証の基本的要件を定める。

登録・認証制度は日本スポーツ協会が運用主体となり、登録・認証の手続・審査は都道府県単位で、都道府県スポーツ協会と都道府県総合型クラブ連絡協議会が主体となるなど、都道府県の実情に応じた運用体制の構築が必要と考えられます。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響に鑑み、登録・認証制度の運用開始時期は令和3年4月1日から令和4年4月1日に延期することになりました。



2 千葉県でのオリンピックと パラリンピック開催について

1. オリンピック・パラリンピックの競技と競技会場

千葉県で開催される競技
Sports to be held in Chiba

幕張メッセ (千葉市)

幕張メッセ
Makuhari Messe

オリンピック競技

フェンシング
Fencing

テコンドー
Taekwondo

レスリング
Wrestling

サーフィン
Surfing

パラリンピック競技

ゴールボール
Goalball

シットイングバレーボール
Sitting Volleyball

パラテコンドー
Para-Taekwondo

車いすフェンシング
Wheelchair Fencing

成田空港

東京湾
アクアライン

釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ
(一宮町)

オリンピック競技

連絡先 CONTACT

千葉県環境生活部オリンピック・パラリンピック推進局事前キャンプ・大会競技支援課
電話 043-223-2428
メール chibaop01@mz.pref.chiba.lg.jp

ホームページ 千葉県 東京オリンピック・パラリンピック 検索

フェイスブック 千葉県にオリンピック・パラリンピックがやってくる! 検索

競技会場
Competition venues

幕張メッセ Makuhari Messe

1989年に開業した複合コンベンション施設。「国際展示場」「国際会議場」「幕張イベントホール」の3施設で構成され、国内最大規模の音楽イベントや文化イベントが開催されている。

■オリンピック競技 フェンシング、テコンドー、レスリング

■パラリンピック競技 ゴールボール、シットイングバレーボール、パラテコンドー、車いすフェンシング

釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ
Tsurigasaki Surfing Beach

九十九里浜の最南端に位置している。この海岸は波面が強く、力強い波が発生することから、サーフィンの国際大会も開催され、プロや上級者のサーファーが集まる。

■オリンピック競技 サーフィン

千葉県 HP (<https://www.pref.chiba.lg.jp/>) より引用



2. 千葉県で開催されるオリンピックの競技



テコンドー Taekwondo

2000年のシドニーオリンピックから正式競技として実施されている。手と足を使って攻撃をすることができるが、足を使った攻撃が特徴的な競技。攻撃が有効か否かは、防具に付けた電子センサーが機械的に判定する。

会場名▶幕張メッセ Aホール
日程▶7月24日(土)～7月27日(火)

腕力・スピードがあり、選手の性格によって様々な闘いがあふれるのが魅力です。

岡本 悠子
2000 シドニーオリンピック 女子67kg級 銅メダル

Point 試合はポイント制で、攻撃の種類や当たった部位によってポイントが違ふよ!

レスリング Wrestling

マット上にある直径9mのサークル内で、2人の競技者が、素手で攻撃する競技。タックルや投げ技、両者が伏せた状態で攻防を行う。「グレコローマンスタイル」は、上半身のみで攻防を行い、「フリースタイル」は、全身のどこを攻めてもよい。

会場名▶幕張メッセ Aホール
日程▶8月1日(日)～8月7日(土)

レスリング競技が千葉県で開催されることを大変嬉しく思います。絶対に金メダルを獲得して今まで支えてくれた全ての人の恩返しをできるように頑張ります! 必ず応援をお願いします!

須崎 優衣(千葉県立市川高等学校)
2018 世界選手権女子50kg級 優勝
2019 全日本選手権女子50kg級 優勝

Point レスリングは1896年の第1回アテネ大会からオリンピック競技となっているよ!

フェンシング Fencing

ピストと呼ばれる長方形の試合場の中で2人が互いに向き合い、武器(剣)を用いて攻撃または防御を行う競技。使用する武器(剣)と防具には電気回路が埋め込まれており、攻撃が成功するとランプが点灯する。「フルーレ」、「エペ」、「サーブル」の3種目がある。

会場名▶幕張メッセ Bホール
日程▶7月24日(土)～8月1日(日)

決まった型はなく選手によって個性がでます。応戦の中で違いを見つけてみてください。

三宅 健(千葉県立市川高等学校)
2013 ロンドンオリンピック 男子フルーレ団体 銅メダル

Point ヨーロッパで発展した剣術が元になった競技だよ!

サーフィン Surfing

制限時間内で同時に複数の選手が対戦し、勝敗を決定する。良い波を見極め、難易度の高いターンやエアリアル(空中に舞い上がる技)を繰り出すことで高得点を獲得することができる。

会場名▶約々海岸サーフィンビーチ
日程▶7月25日(日)～7月28日(水)
7月25日(日)～8月1日(日)にはサーフィンフェスティバルを開催

水面を自由に滑るスピード感がサーフィンの魅力。一宮の波もサイコーです。

大原 洋人(千葉県立市川高等学校)
2015 Vans of US Open Of Surfing 優勝

Point 東京2020オリンピックで初めて正式競技に採用されるよ!

3. 千葉県で開催されるパラリンピックの競技



パラテコンドー Para-Taekwondo

キョルギ(絶手、身体障害選手)と、プムセ(型、知的障害選手)の2種目があり、東京2020パラリンピックでは、キョルギの採用が正式に決定! テコンドー同様、鮮やかな蹴りに注目。

会場名▶幕張メッセ Bホール
日程▶9月2日(水)～9月4日(土)

華やかに広げられる足技の数々選手各々の個性が光る競技は必見!

太田 渉子
2019 第1回世界パラテコンドー選手権大会 優勝
2019 第1回全日本パラテコンドー選手権大会 優勝

Point ルールはテコンドーとほぼ同じだけど、顔への攻撃は禁止されているよ!

車いすフェンシング Wheelchair Fencing

ピストと呼ばれる台に車いすを固定して行うフェンシング競技。ユニフォームや剣、マスクなどは一般のフェンシングと同じものを使用する。「フルーレ」、「エペ」、「サーブル」の3種目があり、障害の種類や程度によって2つのクラスに分かれる。

会場名▶幕張メッセ Bホール
日程▶8月25日(水)～8月29日(日)

剣のコントロールとスピードが勝負を分けるポイントです!

安 直樹
2004 アテネパラリンピック 男子フルーレ個人代表
2016 車いすフェンシング日本選手権 優勝

Point 「ピスト」と呼ばれる特殊な器具で、車いすを地面に固定するよ!

ゴールボール Goalball

視覚障害者が行う競技で、1チーム3人の選手がアイシールド(目隠し)を着用して戦う。攻撃はコート内で1.25kgの鈴入りのボールを転がしたり、バウンドさせて相手ゴールにボールを投げる。前後半各12分で争う。守備は鈴の音や相手の足音を聞き分け、体全体で防御する。

会場名▶幕張メッセ Cホール
日程▶8月25日(水)～9月3日(金)

東京大会が開催出来ることに感謝します。優勝に向けて日々精進しています。

佐野 優人(順天堂大学学生)
2019 Asian Pacific選手権大会 銅メダル

Point ボールの中に鈴が入っているから転がすと音がするよ!

シットイングバレーボール Sitting Volleyball

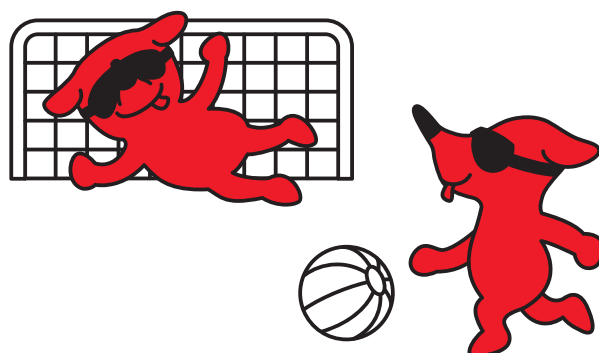
床に臀部(でんぶ)の一部を常に接触したまま行う6人制バレーボール。球は一般のバレーボールと同じで、コートは一般のものより狭く、ネットも低い設定。サーブは腕の無い25点先取(第5セットのみ15点)の5セットマッチ。

会場名▶幕張メッセ Aホール
日程▶8月27日(金)～9月5日(日)

高さのある外周壁に立ち向かう日本チームの見所はスピードとチームワークです。息の合ったコンビプレーを是非ご覧ください。

加藤 直樹(千葉県立市川高等学校)
2000 シドニーパラリンピック 9位
2004 アテネパラリンピック 7位

Point バレーボールと違って、サーブをブロックすることができるよ!



3 千葉県での総合型地域スポーツクラブでの障がい者スポーツ事例

1. 大穴スポーツクラブの設立経緯とNPO法人スマイルクラブ

大穴地区は平成8年から2年間、文部省（現文部科学省）の「スポーツ活動推進モデル地域」として指定を受け、さらに3年間、船橋市教育委員会のモデル地区指定事業としてご指導をいただき平成10年4月ジュニア部、9月シニア部が発足し、千葉県初の総合型地域スポーツクラブの大穴スポーツクラブが誕生しました。大穴地区は昭和30年後半から40年代にかけて宅地開発が盛んにおこなわれインフラ整備が急務で、そのために住民の交流と結束が不可欠でした。そして手段の一つとして考えられたのが運動会の開催でした。それを契機として各種スポーツ活動が盛んになり、現在の大穴スポーツクラブの礎となりました。大穴スポーツクラブの活動場所は、地区内にある小中3校の体育施設開放利用を主な拠点とし、その他公民館、市の大穴近隣公園、大穴多目的広場、保健センター、自治会館など豊富に確保されております。学校体育施設の利用については、「3校学校体育施設開放利用運営委員会」を設置し、クラブ加盟80余団体による年間利用調整会議を経て利用しています。また、ジュニア部の活動は学校の部活動と位置づけて、活動時間は従来の部活動に準じております。シニア部は主に夜間とジュニア部の空いた時間に開放利用しています。大穴スポーツクラブのコンセプトは「スポーツ活動を通して健康なまちづくり」「楽しいスポーツライフ」以て地域に貢献することです。

大穴地区は前述の通りの事情により昭和48年の第1回大会から今日まで、長年にわたって住民の健康増進と住民および各町・自治会の交流、絆を深める事業として運動会を開催しており、そのコンセプトの一つに運動の苦手な子ども（障がい者）の参加を奨励し、交流を深めた経緯がありました。しかし、継続して定期的に行うためには、障がい者に対する専門的知識と資格取得の指導者の確保など高いハードルがありました。折しも船橋市の障がい児の保護者よりスマイルクラブさんに教室開催の要望により、主宰者の大浜さんからアプローチを受け、素晴らしいコンセプトと高い指導力のある「スマイルクラブ」に全面的に事業委託し、大穴スポーツクラブの構成員として活動をしていただいております。そして、現在では大穴地区のみならず地区外の障がい児たちも参加しており、今更ながらスマイルクラブさんには感謝でいっぱいです。

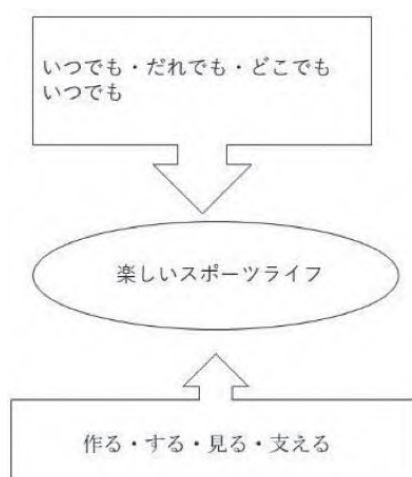


図 大穴スポーツクラブの活動スタイル

■大穴スポーツクラブの活動



スポーツ講習会



アジアからジュニア部の活動を視察来訪



パークゴルフ大会の開会式



太極拳の模範演舞

2. NPO法人スマイルクラブ

1 社会公益性をテーマとした活動のきっかけ

スマイルクラブはもともと体育教師であった理事長大浜あつ子が、自閉症児の母親から「学校の体育授業についていけないので、自分の子どもを見てくれませんか？」との依頼から 2000 年に NPO（兼 文部科学省の総合型地域スポーツクラブ）としてスタートし、主に発達障がい者（児含む）を対象に運動やスポーツによる社会的自立を目的として運動教室「運動が苦手な子の教室（以下「苦手教室」）」（学校体育館等で実施）をおこなってきました。また理事長大浜あつ子がバレーボールを大学まで実践してきたこともあり、一般のバレーボール種目を中心としたスポーツ教室もスタートし、元オリンピック選手もコーチとして教室指導に携わっていただいています。現在は、バレーボールのほかに、バスケットボールやバドミントン種目も追加し、教室も開催しています。

2016 年から新たに放課後等デイサービス事業（障がい者の個別運動指導に特化した事業）もスタートし、現在約 400 人（苦手教室約 200 人、放課後等デイサービス事業約 200 人 計 400 人）の障がい者が在籍し、毎日スポーツや運動を楽しんでいます。

2 現在の活動状況

1) アダプテッドスポーツ（障がい者スポーツ）事業（在籍者数 約 200 人）

①障がい者も参加できる運動教室（発達障がい児、知的障がい児、ダウン症等）

※健常者も参加できるインクルーシブ形式

a)「運動が苦手な子の教室」(主に小学生、中学生) (写真1)

b)「チャレンジスポーツ教室」(主に高校生以上) (写真2)

②様々なパラスポーツおよび障がい者スポーツイベント(大会、体験会等)(参加者数 3,336 名)

a) シットイングバレーボール大会(身体障がい) (写真3)

b) デフバレー大会(聴覚障がい)

c) ID バレーボール大会(知的障がい)

d) フロアバレーボール大会(視覚障がい)

e) パラバドミントン大会・体験会 3,124 名(千葉県、山口県、熊本県、鹿児島県等)

毎年開催(毎年、開催地域も拡大) 2019 年度実績合計数は、3,336 名(写真4)

2) 児童発達支援事業および放課後等デイサービス事業(在籍者数 約200人) (写真5)

発達障がい者の個別運動指導教室「スマイルスポーツ塾」(千葉県柏市、松戸市の2か所)

※スマイルクラブは、マンツーマンの運動指導に特化したデイサービスを実施

3) シニア事業(高齢者) 在籍 約100名(2019 年度実績、2020 年度は休止中)

(2019 年4月まで健康教室開催であったが、現在リニューアル中)

人生100年プログラム・・・100歳までできるバレーボール開発中(現在進行中) (写真6)

スマイルタウン事業(スマイルハウス等)

4) スポーツ教室(一般)(在籍数 約390名) (写真7、8、9)

バレーボール教室(250名) バスケットボール教室(60名) バドミントン教室(80名)

5) 行政との連携

①柏市協働事業「学校体育授業サポート」事業

2006 年～2017 年まで継続(毎年市内小学校 40 校中、10 校の特別支援学級の体育指導)

現在は協働事業から各学校ごとの契約で毎年2～3校で実施

②柏市教育委員会委託事業「鉄棒上達教室」、「運動教室」等

2006 年～現在 毎年4～5校で実施

③横浜市内南区委託事業「作業所の障がい者のスポーツ指導」(メタボ予防)等

横浜市内南区内の作業所から、肥満(メタボ予防)予防のための運動指導を実施

2010 年～現在 年間5回程度で毎回80名程度が参加 延べ400名/年

④文部科学省委託事業「障がい者を対象とした「一生涯スポーツ」柏モデル事業」2019 年度

柏市障がい者スポーツ推進連絡会(柏市スポーツ課等)との共催で、主に発達障がいおよび知的障がいを対象に障がい者スポーツ指導員(スマイルボランティア)を養成(約40名)し、特別支援学校、福祉施設、スマイルクラブの教室等で運動指導をおこなう事業。スマイルボランティアの参加は延べ約100名、教室参加者は延べ約300名となった。

⑤スポーツ庁委託事業「障害者スポーツ推進プロジェクト」2020 年度

千葉県と連携し、障がい者スポーツの普及を目指した事業を展開中。

6) 国際交流

①国際ワークショップ (写真10)

②アジア(中国) (写真11)

③ヨーロッパ(ドイツ、イギリス等) (写真12)

3 事業収支等の推移（10年間）

10年間の収支推移

単位：千円	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 見込
収入 (経常収益)	40,759	45,670	48,467	46,283	70,423	84,647	97,200	115,516	105,294	93,274
支出 (経常費用)	41,941	46,294	47,141	47,262	70,028	84,153	96,699	114,060	104,727	89,861
収支差 (経常増減額)	▲ 1,182	▲ 624	1,326	▲ 979	395	494	501	1,456	567	3,413

社会公益性のあるプログラム（障がい者のプログラム「運動が苦手な子の教室」や「放課後等デイサービス事業」等）をおこなうことで、継続

4 写真で見る活動の様子



写真1 運動が苦手な子の教室

学校での体育メニュー（鉄棒、跳び箱、マットなど）を中心におこなっています



写真2 チャレンジスポーツ教室

一生楽しめるようなメニュー（風船バレー、バドミントンなど）を中心におこなっています



写真3 障がい者スポーツイベント（シッティングバレー）



写真4 障がい者スポーツイベント（パラバドミントン出前授業）



**写真5 放課後等デイサービス事業
スマイルスポーツ塾**



**写真6 シニア事業
100歳バレー**





写真7 バレーボール教室



写真8 バスケットボール教室



写真9 バドミントン教室



写真10 国際交流 国際ワークショップ
2019年10月東京で開催（日本、中国、ドイツ、アメリカ）



写真11 国際交流
中国 中山大学等との交流

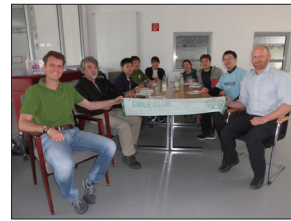


写真12 国際交流
ドイツ、イギリス等の交流



5 「主な受賞歴」

- ◆ 2008年 読売新聞「読売福祉文化賞」受賞
発達障がい児の運動教室「運動苦手な子の教室」の実績による、新時代にふさわしい福祉活動に取り組んでいる活動が評価された。
- ◆ 2010年 「かめのり賞」受賞
アジアワークショップなどアジア（日本、韓国、中国、タイ）における障がい者スポーツにかかわる活動が評価された。
- ◆ 2010年 Amway「one by one アワード」受賞
「運動が苦手な子の教室」を通じて、子どもたちの生活向上支援として新たな可能性を見出したことが評価された。
- ◆ 2012年 第一生命「保健文化賞」受賞
日本の総合型地域スポーツクラブとしてはじめての受賞。障がい者も健常者も身近にスポーツを楽しめる環境づくりや、ボランティアの養成、アジアへのネットワークの構築などが評価された。天皇皇后両陛下のご拝謁を皇居にて賜る。
- ◆ 2012年 博報堂「博報賞」および文部科学大臣奨励賞を受賞
特別支援教育部門においての受賞。「運動が苦手な子の教室」の活動が評価される。
- ◆ 2013年 社会貢献支援財団「社会貢献者表彰」受賞
社会福祉や青少年育成などへの表彰で、スマイルクラブのNPOとしての活動が評価される。

◆ 2015 年 Google インパクトチャレンジ賞受賞

障がい者も高齢者も笑顔で住める街「スマイルタウン」を目指し、モバイルジムを提案し、受賞につながる。

◆ 2017 年 千葉県生涯スポーツ優良団体受賞

6 「理事長 大浜あつ子略歴」

1. 理事長略歴

東京生まれ 筑波大学体育専門学群卒業、横浜市中中学校教諭

2000 年 NPO 法人スマイルクラブ設立と同時に理事長就任

流通経済大学大学院非常勤

2. 理事長主たる著書等

- ①『ジグソーパズルで考える』総合型地域スポーツクラブ 大修館書店 クラブネッツ監修（分担執筆）
- ②『健康運動の支援と実践』金芳堂 筑波大学教授 田中喜代次／大蔵倫博編著（分担執筆）
- ③『コーチングのジレンマ』ブックハウス・エイチディ 慶応義塾大学講師 東海林祐子著（インタビュー形式にて運動が苦手な子の教室の紹介）

7 「最近のマスコミ掲載」について

1. 千葉日報（2020 年 12 月 10 日 船橋市立小室小でのパラバドミントン出前授業）



2. NHK 首都圏ニュース（2020 年 10 月 7 日 柏市立高田小パラバドミントン出前授業）



8 「今後の展望」について

1) スマイルタウンへ向けての活動

高齢者も障がい者もともに笑顔で住める街づくり（スマイルタウン）に向けての活動を促進することが目標です。特にスマイルクラブで働くことのできる障がい者の就労支援や、人生 100 年時代に向けてのソフト（カリキュラム等）開発を進めていく予定です。設立以来 20 年が経過し、当時 10 歳の障がい児が今は 30 歳の社会人となってきています。

本来は、スマイルタウンのように、スマイルクラブで働きながら、スポーツを楽しみ、人生を充実できるような環境を今すぐに実現したいのですが、まだまだそこには至っていません。しかし、いつかそれを実現し、さらにはスマイルクラブから日本代表選手も生まれるようなクラブになりたいと思います。

また人生 100 年時代の超高齢化社会は、スマイルクラブで積み重ねてきた障がい者スポーツのノウハウ（指導面やボランティア養成など）を、高齢者の誰もが車いすなどの障がい者になる可能性のある時代に、必ず活かせるようにしていく使命も感じています。

2) 新たな日本のスポーツの深化

オリンピック・パラリンピックでは、メダルを獲るために必死に日々激しいトレーニングや練習に取り組んでいます。ただし、メダルを獲得するためのスポーツではなく、日常生活の中にスポーツが入り、その中で人生が熟し、社会的自立を促進できるスポーツへと深化し、さらには新たな共生社会実現に向けての着実なステップにもつながるものへスポーツを深化させたいと思います。

3) ボランティアによる市民性の高まり

このような活動には、多くのボランティアの協力が大変重要であり、継続的にこの養成をおこない、ボランティアによる市民性の高まりとともにスマイルタウン実現にもつなげたいと思います。

4) 日本の総合型地域スポーツクラブとしてのモデル構築

日本の総合型地域スポーツクラブは全国で約 3,600 クラブ存在しており、地域に根付いた活動を継続していくためには、様々な住民の方々の要望に応じていく必要があり、そのためには障がい者や高齢者はもちろんのこと、心臓リハビリや認知症予防の医療連携等も検討していく必要性があり、そのことにより多くの地域住民から支持され、継続できると考えています。したがって今後さらに幅広い受け皿を用意できるように準備していく予定です。

5) 世界とのネットワーク構築

スマイルクラブでは設立以来、中国、韓国、タイなどアジアの様々な国の障がい者スポーツの指導に携わるネットワークを構築してきました。また、2019 年 10 月に東京でアジア、ヨーロッパ、アメリカの講師を招き（医師等の医療関係者も含む）、国際ワークショップを開催し、少しずつではありますが海外とのネットワークも構築してきました。そこでは、発達障がい児は世界共通のテーマだということと、それを解決していくには医療関係者、福祉関係者、就労支援関係者等の幅広い組織連携も含めて対応していく必要があり、単にスポーツのみならず幅広い領域との連携を含め世界的ネットワークを構築していきたいと思います。